

平成31年

目黒区教育委員会

第13回定例会会議録

(平成31年4月2日開催)

第13回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成31年4月2日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	秋丸 俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校ICT課長	今村 茂範
	学校運営課長	濱下 正樹
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	竹花 仁志
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	片山 順也
	生涯学習課長	千葉 富美子
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		森 高 健二郎

(議事日程)

- | | | |
|-------|------|---|
| 日程第 1 | 報告事項 | 平成 3 1 年度における学校の空間放射線量及び
学校給食放射性物質の測定について（案） |
| 日程第 2 | 報告事項 | 平成 3 0 年度構造体耐久性調査・評価の結果に
ついて |
| 日程第 3 | 報告事項 | 平成 3 0 ・ 3 1 年度青少年委員の委嘱について |

(午前 9 時開会)

○教育長 平成 31 年第 13 回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、櫻井委員です。

 ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
 なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の皆さんにはお伝えすることはしません。

(日程第 1 平成 31 年度における学校の空間放射線量及び学校給食放射性物質の測定について (案) (報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第 2 を議題とします。

(日程第 2 平成 30 年度構造体耐久性調査・評価の結果について (報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 別紙 2 の評価結果において、No 4 と No 17 の建物に係るコンクリートの強度が評価Ⅲで、コンクリートの中性度が評価 B となっていますが、鉄筋の腐食状況が評価 I であるため、これらの建物については問題ないという判断なのでしょうか。

○教育長 コンクリートの中性度が評価 A-2 となっている No 18 と No 24 の建物についても、併せてご答弁願います。

○説明員 まず、コンクリートの強度に関しては、本区の学校施設はいずれも耐震補強工事を行ってますので、対応できています。

 次に、コンクリートの強度が評価Ⅲ、つまりコンクリートの

強度が低いと推測されるものについて中性化が進行していることについては、委員がご懸念のとおり、耐久性の観点からよろしくないと思いますが、鉄筋がさびてしまうことが構造体の強度に関わってきますので、鉄筋の腐食状況が評価Ⅰである以上、現在の当該建物に係る安全性は確保できていると考えます。

○教育長 今後のためにも、別紙２の説明を別途用意するなど分かりやすい資料づくりの検討をしていただきたいと思います。

その他ご質問等ございますか。

○委員 別紙２の評価結果は、調査した学校のホームページに載る可能性はありますか。

○説明員 別紙２の評価結果は長寿命化計画の基礎資料ですが、学校のホームページなどで公表する予定はありません。

○委員 委員この資料を保護者が見ると、コンクリートの強度が評価Ⅲで、コンクリートの中性化の進行状況が評価Ｂという点に着目して不安に思うことが懸念されるので、取扱いに気を付けてもらいたいと思います。

○教育長 この資料は教育委員会の報告資料であり、また個人情報に当たるものではないため、ホームページに載せないとしても、外に出ていく可能性があります。したがって、区民の不安をあおらないよう、委員が質疑した点も踏まえて、誤解を与えないよう資料の工夫と整理をしていただきたいと思います。

○説明員 ご指摘はごもっともでございまして、コンクリートの強度に係る工学的な説明をすべきではありますが、簡潔かつ正確な説明をすることが難しいところでもあります。どこまで分かりやすい説明ができるか今後検討したいと思います。

○委員 コンクリートの評価の仕方は難しい面もあるかとは思いますが、普段建物を見ている先生、生徒及び保護者の方々からしますと、ひび割れの状況等について資料に加えると分かりやすいのではないのでしょうか。

また、構造体のうちでは、柱が最も耐震に影響するので、調査箇所数だけでなく、どこを調べたのか資料に加えることも検討すべきではないかと思います。

また、コンクリートの密度は完成検査で評価していると思います。今見える範囲で評価しても分からないので、説明で密度を持ち出すとかえって分かりづらくなると思います。

最後に、建物は、施工時にしっかり検査されていることを前提

として、資料ではもう少し一般の人に分かりやすい説明をするよう工夫してはいかがでしょうか。

○教育長 ２ページの（３）の調査実施校の安全性の記述について、小さな字で、かつ一文で記載されているので、読み手に分かりやすくなるよう工夫をしていただければと思います。

また、別紙１の４ページの３の評価の内容の説明欄ですが、この説明の出典は何でしょうか。

○説明員 これは平成２６年及び平成２７年に区長部局で、この調査指標を委託し、作成した際に決めたものでございます。

○教育長 コンクリートの強度の評価Ⅲ及び鉄筋の腐食状況の評価Ⅲに、「耐久性に関する対応策を検討する必要がある」という記載がありますが、この検討は、どのくらいの期間を想定しているのですか。また、コンクリートの中性化の進行状況の評価Ｂで、「構造体を築後６０年を超えて使用するためには、中性化抑制等措置の必要性についての詳細な確認が必要である」という記載がありますが、この確認とその対応には、どのくらいの期間を想定しているのかお聞かせいただけますか。

○説明員 まず、前提としまして、構造体の安全性と耐久性は、別のものがございます。構造体の安全性という観点では、先ほど申し上げたとおり、本区の学校施設はいずれも耐震補強工事がなされていますので問題はありません。

一方、耐久性というのは、中性化を代表としますように長期の時間を経て失っていくものであるため、来年、再来年に対応しなければならないというものではありません。極端な話、建替えをするか、必要な箇所を都度工事するかを今後検討していかなければならないという長期間で考えております。

○教育長 ２ページの（３）で、本区の学校施設はいずれも耐震補強工事を実施済みであり、耐震性は確保されている旨の記載がありますが、それと別紙２の調査結果との関係性が分かりづらいです。また、同ページの（３）に記載されている当該調査結果を踏まえた今後の対応が不明瞭です。これらの点について、区民の方に誤解を与えないよう対応してください。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第３を議題とします。

(日程第3 平成30・31年度青少年委員の委嘱について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 資料の参考の表を見ると、上目黒住区の青少年委員が2名とも欠員となっています。本来青少年委員が提供すべき情報をその住区の子ども達に伝えるためのサポートやフォローを行っているのかお聞きします。

また、この青少年委員の募集に関して、どのような形で募集をしているのかお聞きします。

○説明員 住区青少年部会に情報提供をしまして、そこで様々な情報を当該住区の子ども達に提供しております。

また、募集についてですが、欠員の住区の青少年部会に推薦してもらうよう働きかけを行っております。また、新年会などで住区住民会議の会長に青少年委員の推薦について直接お願い申し上げているところでございます。今後も引き続き推薦について働きかけを行ってまいります。

○委員 青少年部会がフォローしているなら、子ども達には情報が伝わっていると思いますが、青少年委員がいることが子ども達にとっても良いことだと思いますので、今後ともその働きかけをよろしくお願いします。要望です。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

資料配布

- ・ハイパーQ Uアンケート
- ・都内公立中学校第3学年及び義務教育学校第9学年(平成30年12月31日現在)の評定状況の調査結果について

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前 9時40分閉会)